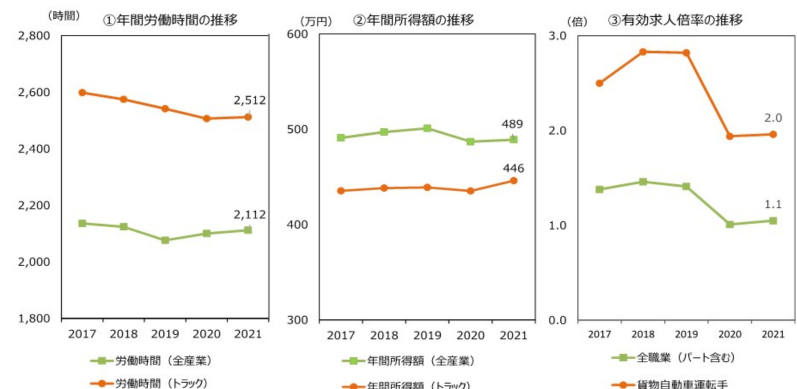


「大変だ！」物流業界の2024年問題

去る3月31日に「我が国の物流の革新に関する」関係閣僚会議が開催され「物流業界の2024年問題」について議論された。働き方改革関連法によって自動車運転業務者の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されること等によって発生する諸問題を総称して「2024年問題」と称している。慢性的なトラックドライバーの長時間労働とそれに起因する交通事故の増加、若手ドライバーの不足と高齢化という課題を解決する為に時間外労働の上限を設定し労働環境を改善しようとする狙いである。これは喜ばしい反面、様々な新たな課題が指摘されている。

トラックドライバーの働き方をめぐる現状

- トラックドライバーを全産業と比較すると、年間労働時間は約2割長く、年間所得額は約1割低く、有効求人倍率は約2倍。
- トラックドライバーの長時間労働の主な要因としては、長時間の運転時間、荷待ち時間、荷役作業等が挙げられる。



出典：①②厚生労働省「賃金構造基本統計調査」から国土交通省自動車局にて作成。③厚生労働省「一般職業紹介状況」から国土交通省自動車局にて作成

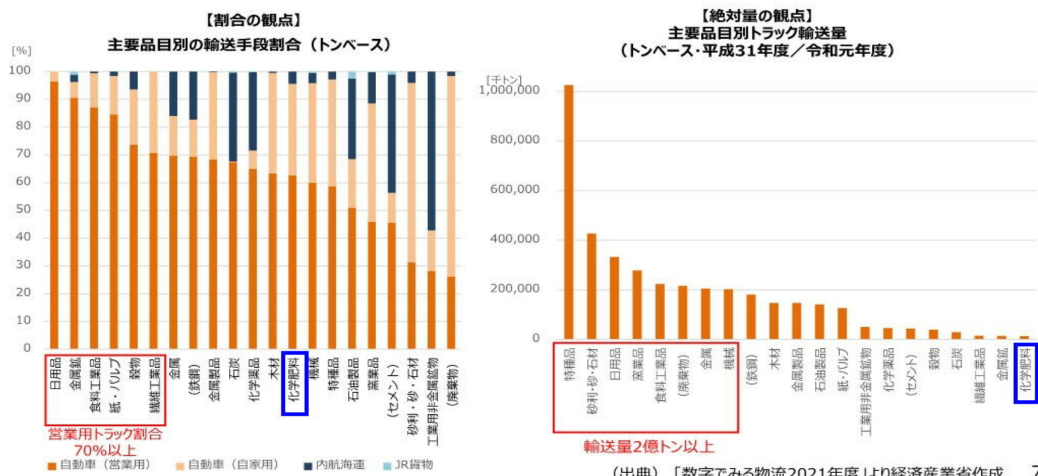
一つは一日に運べる物量が減ると

という問題。二つ目は一日に走れる距離が縮まるという問題。それによって物流費を値上げせざるを得ないという新たな問題も抱えている。ドライバーの長時間労働の原因として以下のことが指摘されている。①着(発)荷主での待ち時間の発生②積み込みや荷下ろしが手作業で長時間となる③効率的な配送計画でない、など肥料業界にとっては耳の痛い話だ。我々肥料業界も①荷待ち時間の短縮②パレット化による手作業の解消など取り組まなければいけない問題との認識はありながら、現場での改善は容易でない。JA全農は「ホワイト物流」推進運動に賛同すると発表しており、肥料のパレット流通の拡大、青果物の広域物流拠点の整備等により労働時間の削減と環境負荷の低減に努めていると説明している。

また、昨年9月に経済産業省・国土交通省・農林水産省が連名で「我が国の物流を取り巻く現状と取組状況」を発表した。そこではパレット標準化推進分科会の中間とりまとめを公表しており、バラ積み解消の為にパレット規格の議論を前倒しし、効率向上・機械化促進・コスト面でのスケールメリッ

1. (1) 物流の現状：業界別でのトラック輸送概況

- 輸送手段に占める営業用トラックの活用割合が特に多いのは日用品、金属鉱、食料工業品等。石油製品や窯業品など、自家輸送や内航海運を主な輸送手段とする品目も存在する。



(出典) 「数字でみる物流2021年度」より経済産業省作成

トを期待して1,100mm×1,100mmを推奨規格とする方向で取り纏めるようだ。

我々商系肥料業界もこの課題に取り組まなければならないのだが各メーカーが使用するパレットサイズが違い、また工場から出ていったパレットと返却されるパレットの差が生じる、パレット返却にコストがかかる等課題が多いのが現状だ。レンタルパレットを利用する肥料メーカーもあり肥料物流において各社色々な工夫や改善を進め始めているが2024年も目の前に迫りスピード感が求められる。

肥料価格高騰と生産者の高齢化に対応する為に肥料の20kg袋を15kg袋に減量した肥料がホームセンターの店頭で販売されているのが見受けられるようになった。まだ一部の銘柄に限られているようだが生産者の高齢化が進めば15kg袋が一般的になることも予想される。

2023年度は物流問題に直面し、肥料業界が変わっていく起点となるかもしれない。

～高校ラグビー部の食事情～

『何のために食べるのか?』

こんな質問を一般的な高校生ラグーマンに質問すると、こんな答えが返ってきます。

『お腹が減ったから』『生きていくため』『栄養を取るため』『監督・コーチに言われるから』・・・など様々な答えが返ってきますが、どれも正解でしょう。しかし、高校ラグビーの強豪校と言われる学校の正解は『勝つ為に・・・食べる』なのです。高校生ラグーマンがどれだけ毎日食べている(食べさせられている)かという事を食育(食べて育つ)という観点から筆を進めてみます。

ラグビーをする事は、日常生活と違い身体にとってかなり負担が大きいので、エネルギーを補給し補充しなければなりません。また、身体と身体をぶつけあうのでエネルギーをたくさん使い、細胞は壊れ体内が酸化します。身体の筋肉・骨・血液を回復させる為にも食べる事が必要になってくるのです。

では、何を中心に彼らが食べているかということと中心はご飯、お米なんです。強豪校のトレーナーが勧めている食事の量は一日で5合です。

○朝ご飯400g(お茶碗2.5杯) ○昼ご飯700g(お茶碗4杯強)

○夕ご飯700g(お茶碗4杯強) 一日のご飯量 合計1,800g÷5合(2,808kcal)

ご飯の栄養素(*)は、お茶碗一杯(150g)あたり熱量:234kcal、炭水化物51.9g・脂質0.3g・たんぱく質3.0g

(*)資料:公益財団法人 米穀安定供給確保機構



高校ラグビー選手の平均体重はフォワード(前列の選手)95kg、バックス(後列の選手)78kgが平均です。最近ではFWで105kgぐらいの選手やBKで85kgの選手もゴロゴロ出てきています。

今年の9月9日からラグビーワールドカップがフランスで開催されます。将来の日本代表になりえる高校ラグビー選手も筋肉隆々のアスリートになるために努力をしています。彼らが目指している全国大会(花園)も応援していきたいですね。

学生ラグーマンが沢山食べて身体を強固にしてもらえるように、美味しいお米を作るサポートを三菱商事アグリサービス全員でスクラムを組んで頑張っていきたいと思います。(特販部)



今号より編集後記担当させていただきます、山内です。

まだ4月なのに異様に暑い日が多かったですね。アイスの美味しい季節が近づいてきて嬉しいです。

編集事務局:田口、山内

電話:03-5275-5511/E-mail:macjournal@mcagri.co.jp

URL <http://www.mcagri.jp>